

(市長 当日用)

祝 辞

小中一貫校むくのき学園がこの春めでたく開校を迎え、本日、記念式典が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、開校にご尽力いただきました皆様に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

小中一貫校むくのき学園は、大阪市では初めて、市内全域から募集を行い、施設一体型小中一貫校として新しくスタートすることになりました。本校は、これからのグローバル化・情報化社会を生き抜くための「キャリア教育」を重視した新しいタイプの学校であり、その開校が多くの人々に待ち望まれておりました。

「むくのき学園」の名前は、児童・生徒のみなさん、地域や保護者、教職員のみなさんからのご意見をもとに名付けられました。むくのき学園には、その頭文字をとって「むすぶ」、「くねんかん」で「のぞみ」を「きずきあげる」というキャッチフレーズが付けられております。これには「変化の激しい時代に重要な役割を担う人材を育成する」との願いがこめられております。

これから新たな歴史をつくっていかれる児童生徒のみなさん、自信と誇りを持って勉強や部活動に励んでください。友だちや先生と互いの気持ちを伝え合う努力を忘れないようにしてください。みなさんが、それぞれの夢に向かって大きく羽ばたき、将来の大阪を支えていく人材へと成長されることを願っております。

大阪は、古来より難波の宮を中心とした国際交流の拠点として栄え、今日でも人・物・経済の中心都市であります。これはひとえに、大阪で暮らす人、大阪につどう人々のもつ「民」の活力によって成し遂げられたといっても過言ではありません。今後も「民」のもつ力を最大限に発揮してもらえよう、さらなる環境整備を推進し、教育環境の充実についてもさらに力を注いでまいります。ここにおられる皆さんが、魅力あふれる都市、大阪の一翼を担っていただけることを期待しております。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆さんのご尽力と、保護者や地域の皆様のあたたかいご支援により「小中一貫校むくのき学園」が大きく発展いたしますよう、あわせて、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

平成26年5月31日
大阪市長 橋下 徹